

令和7年度（2025年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

商 法

C日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

令和7年度（2025年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	商	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

問題1（15点）

次の事例を読み、[問い]に答えなさい。

1. A社は、東京に本社を置き、株式を東京証券取引所に上場する、年間売上げ1000億円、総資産3000億円、純資産1500億円（資本金100億円）の不動産販売・賃貸等を営む株式会社である。
2. あるとき、B社からA社の所有する賃貸ビル甲を敷地とあわせて購入したいとの申し入れがあった。甲はA社の関西地方進出の足掛かりとなった象徴的ビルであったが、現在は空室も目立ち、収支はほぼ等しい状態であった。
3. B社の希望購入価格は、甲と敷地をあわせて60億円ということであり、A社代表取締役Cは、甲と敷地について不動産鑑定を実施し、B社が提案する希望購入価格が時価の範囲内であると判断したため、取締役会の決議をとることなく、直ちにB社に売却した（以下、「本件売買契約」という。）。

[問い]

- (1) 本件売買契約について、A社の取締役会決議は必要であったか。
- (2) 仮に取締役会決議が必要であった場合、本件売買契約の効力はどうなるか。

問題2（10点）

吸収分割に反対する吸収分割株式会社の株主が、当該会社に対して自己の株式の買取を求める手段について、条文を挙げて説明しつつ、分割により企業価値の増加が生じない場合の、裁判所の価格決定の見解を論述しなさい。

以上